



これからの
養護教諭に
求められること

岐阜県教育委員会

体育健康課 阪野きよみ

明治40年代の学校・・・

- ・全国的に伝染性眼疾患（トラコーマ）が流行
- ・学校児童のトラコーマ予防と洗眼などの治療



県病院の看護婦
廣瀬ます の派遣



廣瀬ます 先生の学校では . . .



- ・ 児童も保護者も一緒に
衛生教育（手洗い等）
の実施



当時は
非難・中傷
されることも…

◎ 専門職としての働き

養護教諭の原点

岐阜市学校看護婦会の設立

→岐阜県学校看護婦会へ（昭和8年）

・広瀬ます「凍傷の予防と手当16」

手当を受けるため治療室へ参ります患者は、何れも寒さと傷の痛さに元気もなく今にも泣きそうな顔をして居りますが、一旦浴にはいれば一中略一嬉々として歌を唱うやら、お話を始めるやら、その天真爛漫さに、今まで目の廻る程の忙しさでも総ての苦労も打忘れて共に喜んだり、お話の相手をしたり致します。その中には、思いがけない家庭の事情もわかり非常に親しくなり、遂には余りのいじらしさに今度は私の方が涙が滲む程でございます

出典：学童養護（帝国学校衛生会学校看護部 発刊 1928～1937）

項目	質問内容・ご講演でご指導いただきたいこと
教育相談関係について	● 感情のコントロールがうまくできず、教室からとび出し保健室に来室する児童が多く

多様化する**健康課題**（メンタルヘルス、アレルギー疾患、生活習慣、性、感染症など）に向き合う**養護教諭**に**求められるもの、大切にすべきこと**についてお聞きしたいです。

<p>ウンセラーさんによっても考え方が違うので難しいと感じ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 無気力で授業への意欲がわかず、いろんな症状を訴え、応と保護者との連携について ● 児童生徒の心身の健康のみでなく、今は特別支援学級のしている状況です。求められる事柄が多岐に渡り過ぎてなくなる時もあります。特支と保健室の関わりについてです。 	<p>多様化する健康課題への養護教諭としての対応について</p> <p>スマホの使い方に対する養教としての指導について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 多様化する健康課題（メンタルヘルス、アレルギー疾患、生活習慣、性、感染症など）に向き合う養護教諭に求められるもの、大切にすべきことについてお聞きしたいです。 ● スマートフォンを利用している児童が増加傾向にあり、SNS上での児童間のやり取りや使い方に気になるところがあります。家庭によってルールの有無や保護者の介入の程度も異なり指導の難しさを感じています。これまでに阪野先生が実践された指導や取り組みでメディアコントロールに関するものがあればぜひ聞かせていただきたいです。
	<p>養護教諭としての他の教師との連携や学校体制作りについて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 保健室や養護教諭の執務の中で捉えた健康課題などを改善するために、職員の理解や協力が必要です。しかし、職員の中には健康課題への理解や共感が足りてない方や養護教諭が思っていたように上手く取り組みが行かない場合があります。すべての執務において養護教諭一人で行うことには限界があり、他の先生方と上手く連携するにはどうするとよいのでしょうか。 ● 各種指導や職員研修時の配慮事項などについて教えてください。
	<p>生涯にわたって健康な生活を送るための</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● これから必要とされる「ウエルビーイング（＝身体的・精神的・社会的に良好な状態）を育む学校保健活動の推進」について、効果的な学校保健活動を



・健康をはぐくむ

・命を守る

先生方からの質問から①

項目	質問内容・ご講演でご指導いただきたいこと	備考
<p>教育相談関係について</p>	<p>感情のコントロールが難しい子どもが教室からとび出し保健室に来る子どもが多くなってきていると感じています。その背景は様々ですが、養護教諭としての支援の在り方をお聞きしたいです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 教室での学習について行けず、保健室登校になってしまう児童もいます。いち早く、個性や特性、能力を見極めて、適切な場所で安心して過ごせることが理想ですが簡単には進みません。どのように進めていくと良いでしょうか？ ● 小学校での心の教育について。特に不安が強い児童や登校しぶりのある児童に対する対応について。担任の先生が怖い・嫌だという児童がいます。養護教諭としてどのような対応ができるか。 ● 心身の健康課題が複雑化・多様化する中、様々な悩みを抱える子どもたちに対して学校全体で対応していくことの重要性を感じています。特に教育相談に関わる事例が増加しており、学校全体で支援していく中で求められる養護教諭の役割について教えてください。 ● 不登校や教室に入れない子への学校での居場所として、相談室や保健室の役割や学校としてのルールのアドバイス ● 教育相談も担当しているのですが、現在は、無理に学校へ行かせないという世の中の風潮の中、そうい 	

- 保健室登校
- 登校しぶり
- 教室に入れない



児童生徒の問題行動・不登校等 生徒指導上の諸課題に関する調査

不登校とは

年度内に連続又は断続して30日以上登校しなかった児童生徒であって、何らかの心理的、情緒的、身体的、あるいは社会的要因・背景により、児童生徒が登校しないあるいはしたくともできない状況にある者（ただし、「病気」や「経済的理由」による者を除く）の数。

10年前と比較すると・・・



不登校児童生徒数(上段)と1,000人当たりの不登校児童生徒数(下段)

	H26	H27	R4	R5
小学校	25,864	27,583	105,112	130,370
	3.9	4.2	17.0	21.4
中学校	97,033	98,408	193,936	216,112
	27.6	28.3	59.8	67.1
計	122,897	125,991	299,048	346,482
	12.1	12.6	31.7	37.2

不登校児童生徒
 小学校：約5倍
 中学校：約3倍



誰一人取り残されない
学びの保障に向けた
不登校対策

Comfortable,
Customized and
Optimized
Locations of learning

COCOLOプラン

2

心の小さなSOSを見逃さず、
「チーム学校」で支援します。

1

不登校の児童生徒全ての学びの場を確保し、健康をはぐくむ
学びたいと思った時に学べる環境を整えます。

01

不登校特例校の
設置を促進

令和5年2月現在 不登校特例校： 21校
設置していないが設置を検討している市町村： 379

早期に全ての都道府県・政令指定都市に、将来的には希望する児童生徒が居住地によらず通えるよう、分教室型も含め全国300校を目指します。このため、

全国に示すとともに、
導入積極的な役割を

コースクール等との連
携の児童生徒へのオン
スクールへの助言やノ

、関係者に意見を募
取いたします。



02

校内教育支援センター
(スペシャルサポートルーム等)
の設置を促進

令和5年2月現在 全ての学校に設置
されている市町村： 229
設置していない市町村： 1018

自分のクラスに入りづらい
児童生徒が、落ち着いた空
間の中で自分に合ったベ
ースで学習・生活できる環境
を学校内に設置します。

自分のクラスとつな
がったオンライン指導や
テスト等も受けられ、
その結果が成績に反
映されるようになります。

教育支援センター
の機能を強化

03

令和5年2月現在 単独で設置している市町村： 1147
他の自治体と共同設置している市町村： 126
設置していないが設置を検討している市町村： 134

不登校の児童生徒への支援には、その保護者が必要と
する情報を提供するとともに、子供たちが学びの場や
居場所につなぐことができるよう、学校のほか、その教
育支援に活用できる民間団体やNPO等の活用も検討
いたします。
民間のノウハウを活用した予設校等への支援
が行えるよう、事業交流や人材交流、NPOやフ
リースクール等との連携を強化します。

より広域の子供たちや保護者につながるよう、オンライン
による支援や、オンライン指導やテスト等も受けられ、
その結果が成績に反映されるようになります。

なぜ？
原因は？

- ・ 身体症状
- ・ 言葉

アンテナが高い

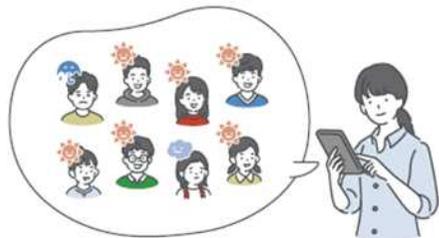
01

1人1台端末を活用した
心や体調の変化の早期発見を推進

令和5年2月現在 アプリ等を用いた把握を行っている市町村： 411
今後アプリ等の活用を検討している市町村： 580

子供たちの心身の状態の
変化への気付きや相談支
援のきっかけづくりを増や
すため、毎日の健康観察に
ICTを活用します。

子供たちが自分の心や体に向き合う
きっかけを作るとともに、子供や保護者
が相談したいことがあるときにワンタッ
チで教師やスクールカウンセラーにつ
ながることができるようにします。



02

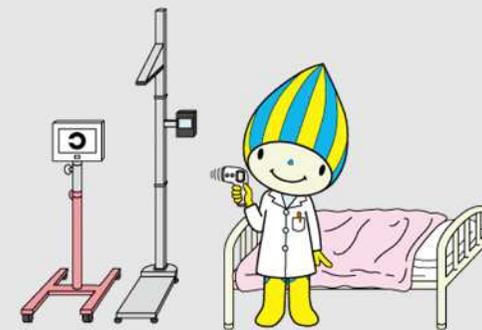
「チーム学校」による早期支援を推進

SOSをキャッチした後に、教師やスクールカウンセ
ラー、スクールソーシャルワーカー、養護教諭、学校
医等が専門性を発揮して連携し、最適な支援につ
ながることができるよう、スクリーニング会議やケー
ス会議の開催方法・支援方法を確立します。

自分のクラスに入りづら
い児童生徒が、落ち着いた
環境の中で自分に
合ったベースで学習・生
活できるようにします。

こども家庭庁とも連携し、子供たちと保護者を包括的
に支援するため、必要な福祉部局と教育委員会の持
つ子供のデータを連携し関係者で共有します。また、
部局間の人事交流や併任発令を促すことにより、福
祉部局と教育委員会の連携を強化します。

「連携」しながら…



目をつける
(眼差し)

声をかける
(あいさつ)

つないでいく

心をつける
(心にとめる)

手をつける
(手をあてる)



先生方からの質問から②

効果的な実践方法 主体性を引き出す 指導方法

養護教諭としての危機管理・重大事案の対応について	<ul style="list-style-type: none"> ● 重大事案が起きないための保健室経営の具体的な対策、身に付けるべきスキルを教えてください。 ● 地震、洪水、自然災害が発生した場合における養護教諭の取るべき対応について、今からできる備えなど危機管理の面で取っていただきたいです。 ● 県内で起こった救急搬送の事例や、生徒対応の具体的な事例を教えてください。
多様化する健康課題への養護教諭としての対応について	<ul style="list-style-type: none"> ● 多様化する健康課題（メンタルヘルス、アレルギー疾患、生活習慣、性、感染症など）に向き合う養護教諭に求められるもの、大切にすべきことについてお聞きしたいです。
スマホの使い方に対する養教としての指導について	<ul style="list-style-type: none"> ● スマートフォンを利用している児童が増加傾向にあり、SNS上での児童間のやり取りや使い方に気になるところがあります。家庭によってルールの有無や保護者の介入の程度も異なり指導の難しさを感じています。これまでに阪野先生が実践された指導や取り組みでメディアコントロールに関するものがあればぜひ聞かせていただきたいです。
養護教諭としての他の教師との連携や学校体制作りについて	<ul style="list-style-type: none"> ● 保健室や養護教諭の執務の中で捉えた健康課題などを改善するために、職員の理解や協力が必要です。しかし、職員の中には健康課題への理解や共感が足りてない方や養護教諭が思っていたように上手く取り組みが行かない場合があります。すべての執務において養護教諭一人で行うことには限界があり、他の先生方と上手く連携するにはどうするとよいのでしょうか。 ● 各種指導や職員研修時の配慮事項などについて教えてください。
生涯にわたって健康な生活を送るための	<ul style="list-style-type: none"> ● これから必要とされる「ウエルビーイング（＝身体的・精神的・社会的に良好な状態）を育む学校保健活動の推進」について、効果的な学校保健活動を

と上手く連携するにはどうするとよいのでしょうか。←
 研修時の配慮事項などについて教えてください。←
 される「ウエルビーイング（＝身体的・精神的・社会的に良好な学校保健活動の推進）」について、効果的な学校保健活動を始めにどのような取組をしていくとよいのか教えてください

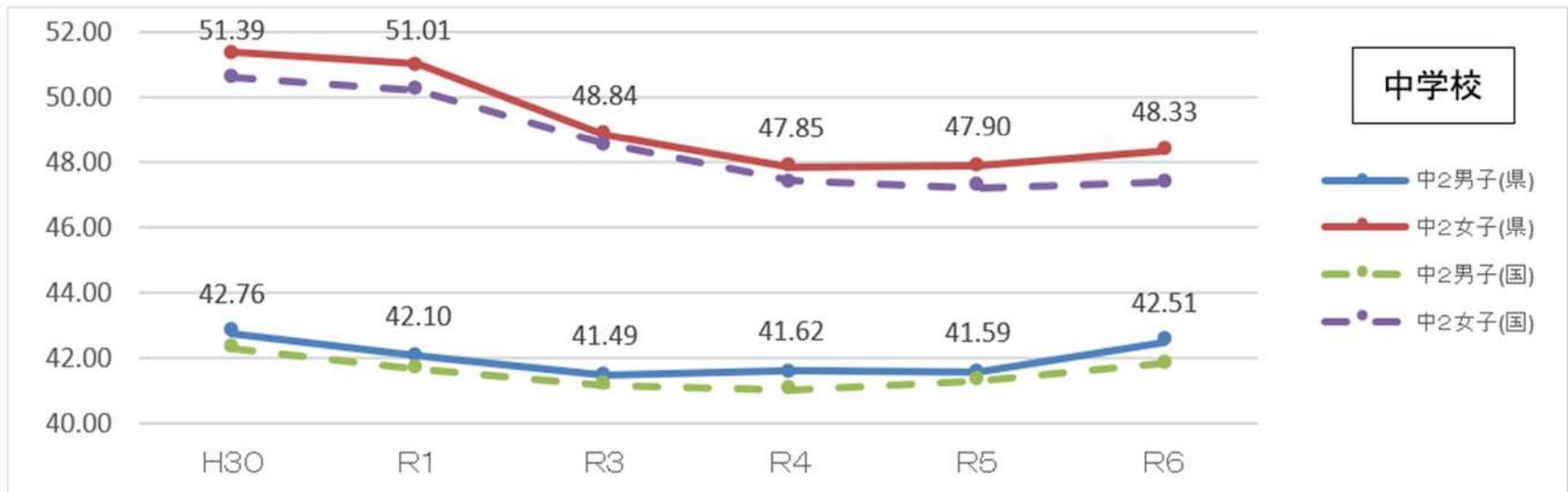
- 生涯にわたって健康な生活を送るために必要な力を育成するために、教職員や家庭、地域との連携が不可欠であると痛感している。効果的な実践方法について具体的に知りたい。←
- 心身の健康に関する知識技能や保健教育を通して、意思決定や行動選択ができるよう取り組みに努めているが、自己有能感や自己肯定感を高めるためにどのような指導や支援が大切か知りたい。←
- 中学生になると、生活習慣などの健康に関する知識が、ある程度あります。しかし、わかっているけど、できない（やらない）というような現状が多くあります。なので、やりたいと生徒の主体性を引き出す指導方法を知りたいです。←

一緒に考えて
みましよう

一緒に考えて
みましょう

＜全国体力・運動能力、運動習慣等調査体力合計点の推移＞

健康をはぐくむ



岐阜県HPより:令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査岐阜県の調査結果について

一緒に考えて
みましょう

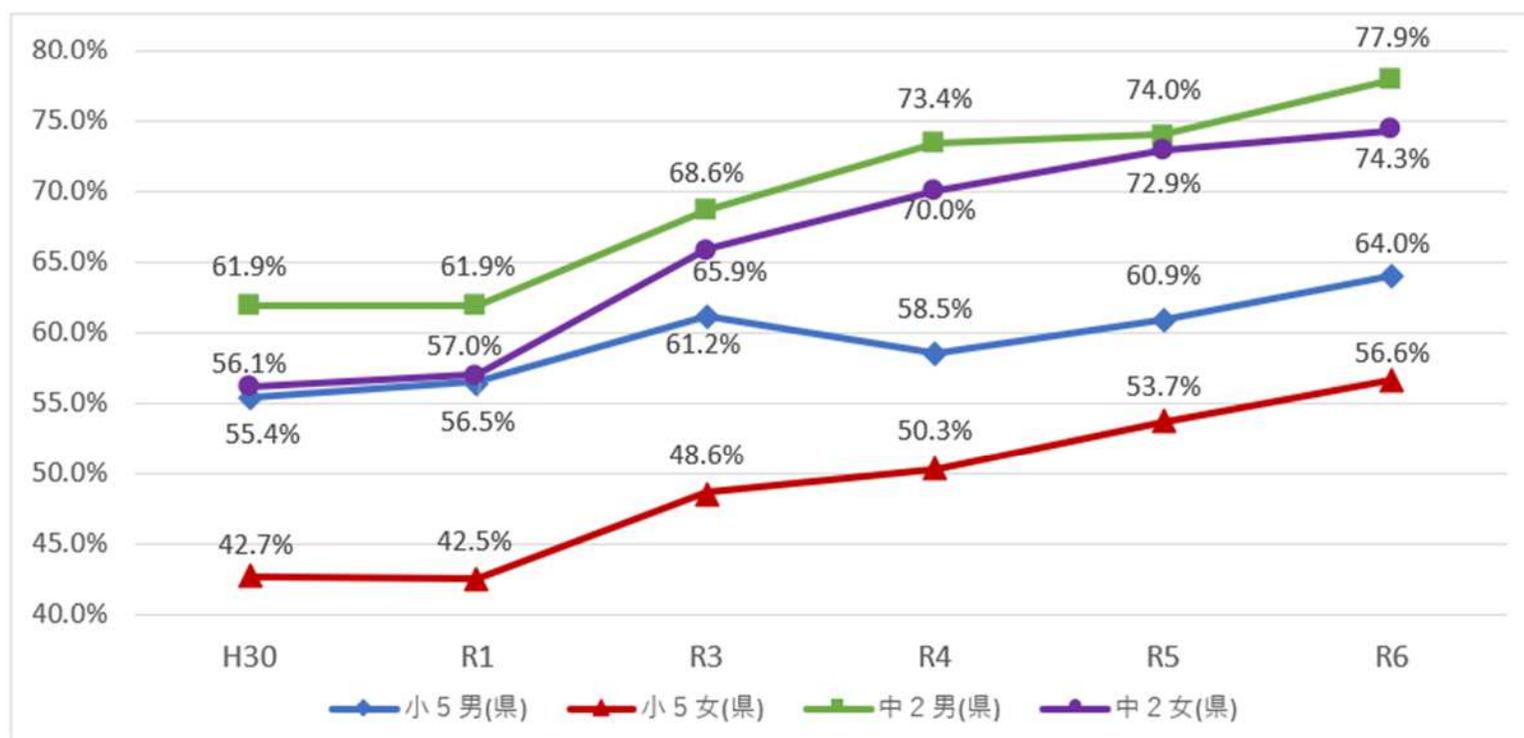
健康をはぐくむ

(3) 生活習慣等に関わる項目

①スクリーンタイム

スクリーンタイム 増加傾向

<小・中学校男女におけるスクリーンタイムが2時間以上の割合>



※スクリーンタイム…平日1日当たりのテレビ、スマートフォン、ゲーム機等による映像の視聴時間

岐阜県HPより:令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査岐阜県の調査結果について

一緒に考えて
みましょう

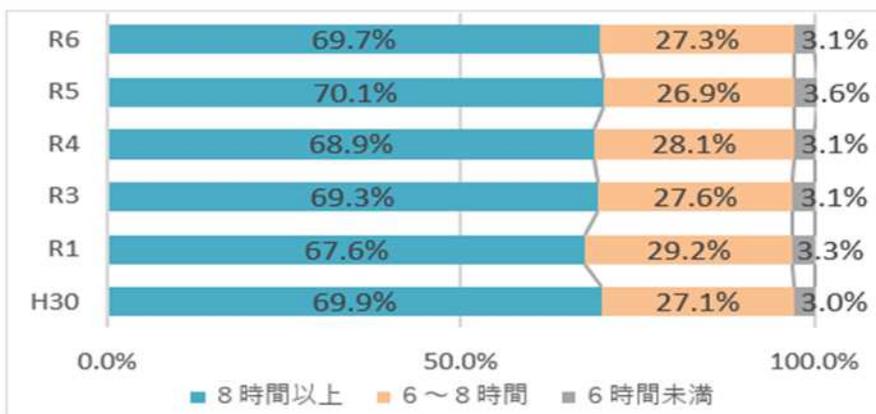
健康をはぐくむ

睡眠 8 時間以上：増加傾向
睡眠 6 時間以下：減少傾向

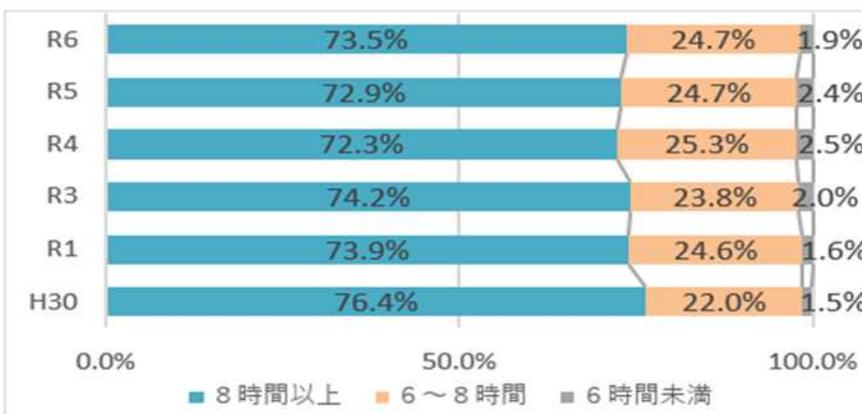
5年度と比べ増加

減少した。

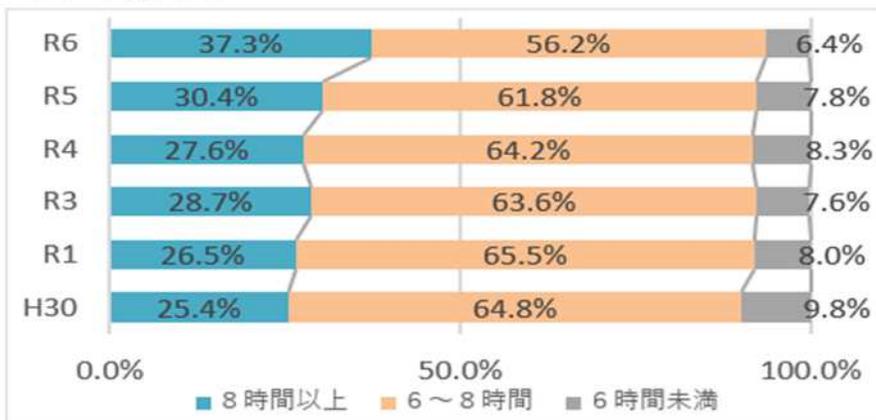
[小5男子]



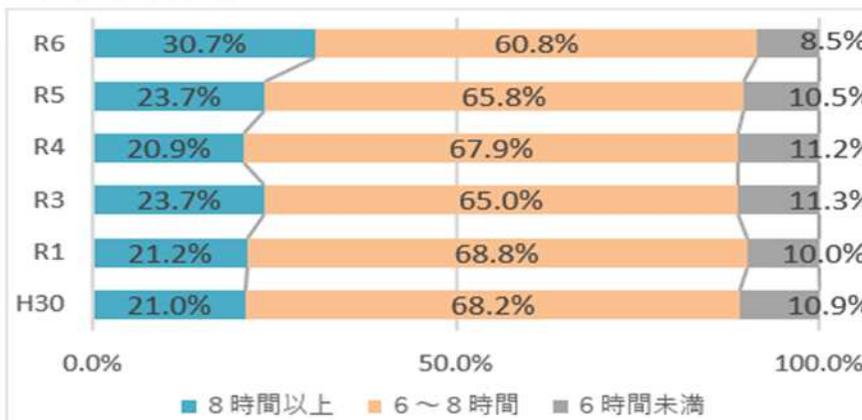
[小5女子]



[中2男子]



[中2女子]



岐阜県HPより: 令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査岐阜県の調査結果について

一緒に考えて
みましょう

健康をはぐくむ

効果的な実践は？
主体性を引き出す指導方法は？



健康をはぐくむために大切にしたいこと

- ・ 子供たちの実態把握

スクリーンタイムで何をしているのか

見て
感じる

- ・ 実践から学び、継続

良い指導・支援は省察から生みだされる

実践・省察



健康をはぐくむために大切にしたいこと

・仲間から学ぶ

実践を共有し、新たな視点を

共有し・挑戦

つながりを大切に

- ・三師会と養護教諭との交流会
- ・揖斐郡養護教諭部会



先生方からの質問から③

- ・ 重大事案
- ・ 救急搬送

アレルギー対応について	<ul style="list-style-type: none">● アレルギー対応の望ましい対応について。(校内、保護
養護教諭としての危機管理や重大事案への対応について	<ul style="list-style-type: none">● 重大事案が起きないための保健室経営の具体的な対策、● 地震、洪水等自然災害が発生した場合における養護教諭の取るべき対応について、今からできる備えなど危機管理の面で教えていただけるとありがたいです。● 県内で起こった救急搬送の事例や、生徒対応の具体的な事例を教えてください。
多様化する健康課題への養護教諭としての対応について	<ul style="list-style-type: none">● 多様化する健康課題（メンタルヘルス、アレルギー疾患、生活習慣、性、感染症など）に向き合う養護教諭に求められるもの、大切にすべきことについてお聞きしたいです。



岐阜県教育委員会 学校安全課 資料

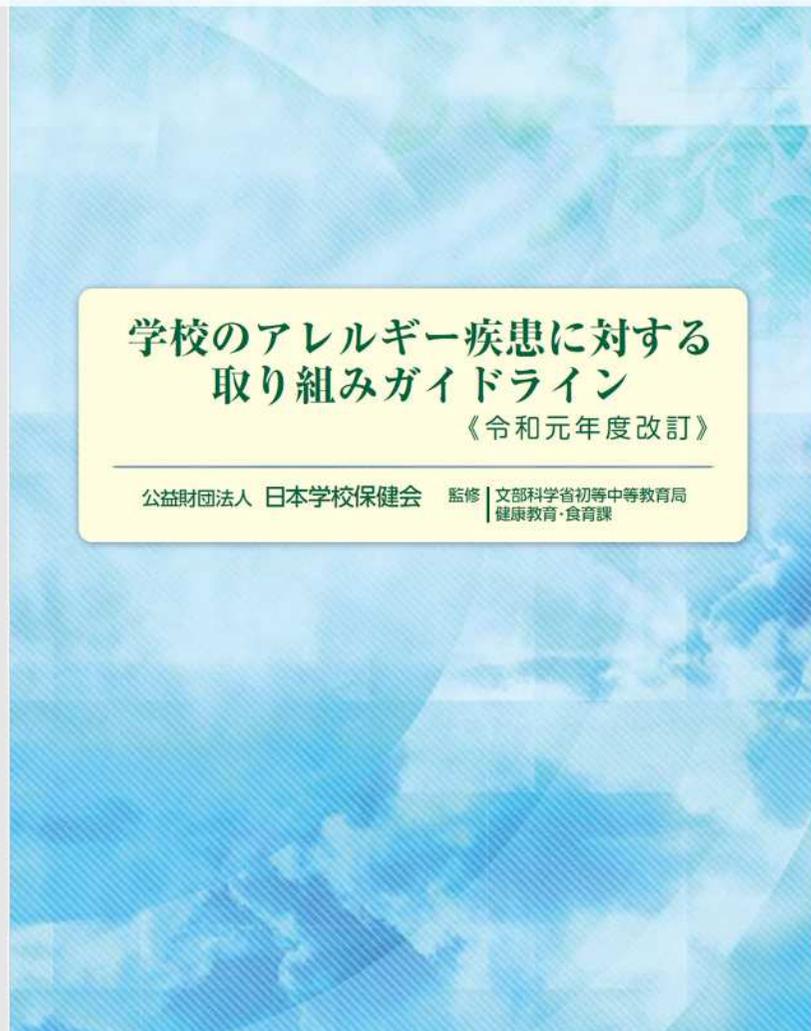
・【岐阜県版】SOSの出し方に関する教育のガイドブック

(<https://www.pref.gifu.lg.jp/uploaded/attachment/395785.pdf>)

- ①自分が困っているという状態を**認識**できる。
- ②相談に必要なスキルと**知識を有**している。
- ③困った時に、相談することのメリットを**予測**できる。
- ④周囲に信頼できる人、**相談できる相手**がいる。



食物アレルギーについて



令和2年3月発行 日本学校保健会



平成27年3月発行 文部科学省

食物アレルギーについて

文部科学省 MINISTRY OF EDUCATION, CULTURE, SPORTS, SCIENCE AND TECHNOLOGY/JAPAN

> サイトマップ > English 文字サイズの変更 小 中 大 Google Custom Search

会見・報道・お知らせ | 政策・審議会 | 白書・統計・出版物 | 申請・手続き | 文部科学省の紹介

トップ > 教育 > 学校保健、学校給食、食育 > 学校給食における食物アレルギー対応について

● 学校給食における食物アレルギー対応について

文部科学省では、学校における食物アレルギー事故防止の徹底を図るため、各学校設置者(教育委員会等)、学校及び調理場において、食物アレルギー対応に関する具体的な方針やマニュアル等を作成する際の参考となるよう、学校給食における食物アレルギー対応の基本的な考え方や留意すべき事項等を示した指針を作成しました。各学校設置者(教育委員会等)は、本指針を参考に、所管する学校や調理場等における食物アレルギー対応の方針を定め、学校及び共同調理場においては、本指針及び学校設置者が定める方針を踏まえ、学校内や調理場における対応マニュアルを整備し、安全な給食の提供に努めてくださるようお願いいたします。

なお、学校設置者等において方針等を作成するに当たっては、管理職を含めた全ての教職員、関係者が主体的に関わって作成すること、また、その学校等の置かれている諸条件に応じて最も適切と考えられる方策を取り入れることに留意して作成してください。

- [学校給食における食物アレルギー対応指針 \(PDF:2994KB\)](#)

※19ページの表に記載のある調味料・だし・添加物等(香辛料含む)については、基本的に除去の必要はありませんが、表に記載のないものについては完全除去を基本とします。
ただし、対応の決定にあたっては、保護者と相談の上、医師に改めて確認をとってください。

【食物アレルギーの基本的な考え方】

- [学校給食における食物アレルギー対応に関する調査研究協力者会議最終報告について \(PDF:325KB\)](#)
- [学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン・要約版・研修資料PDF\(※日本学校保健会のページへリンク\)](#)

映像資料

- [学校におけるアレルギー疾患対応資料\(※YouTubeのページへリンク\)](#)
- [＜研修資料＞学校におけるアレルギー疾患対応の基本的な考え方\(※YouTubeのページへリンク\)](#)
- [＜研修資料＞食物アレルギーに関する基礎知識\(※YouTubeのページへリンク\)](#)
- [＜研修資料＞学校生活上の留意点\(※YouTubeのページへリンク\)](#)
- [＜研修資料＞緊急時の対応\(※YouTubeのページへリンク\)](#)

デス

ある事例から

・ 命をまもる



事例事故の反省点

危機管理意識の低さ

- ・ 担架・AEDの設置
- ・ 養護教諭としての役割
救急搬送 ・ 緊急時の体制
- ・ 以前にも、同じことが…

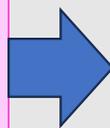


テント設営方法の検証



← 風がテントの下に入ったときに、
テントは飛ばされる

テントを固定する
紐を一部にする

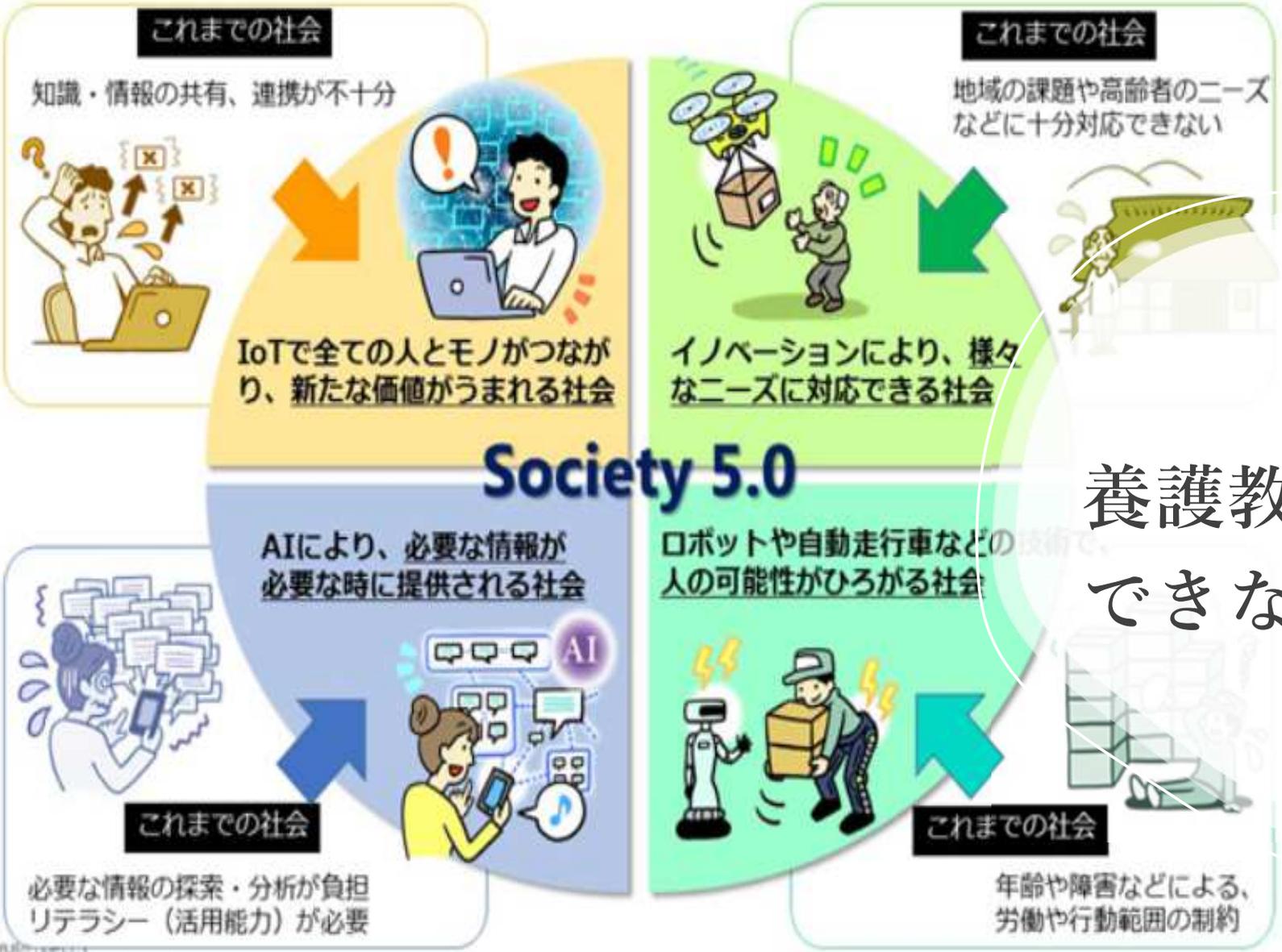


命をまもるために大切にしたいこと

危機管理のさしすせそ

さ = 最悪を想定して
し = 慎重に
せ = 誠意をもって
す = 素早く
そ = 組織で





養護教諭にしか
できないことは？

